



令和 8 年 5 月 18 日
国土交通省関東地方整備局
港湾空港部

横浜港における C O N P A S[®]常時運用の開始について

～本牧 B C コンテナターミナル（B C 2 ゲート）において原則予約による常時運用を開始～

横浜港本牧 B C コンテナターミナル（B C 2 ゲート）において、令和 8 年 7 月中旬より、原則予約による C O N P A S[®]の常時運用を開始します。

国土交通省関東地方整備局では、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図ることで、コンテナ物流の効率化及び生産性向上の実現を目的とした「C O N P A S[®]」の試験運用を平成 30 年より継続して実施してきました。

令和 7 年度においては、横浜港本牧 B C コンテナターミナル（B C 2 ゲート）にて、「原則予約」の試験運用を 3 回にわたって実施しました。関係する皆様のご協力の下、大きな混乱もなく、多くの C O N P A S[®]予約をご利用いただくことができました。その結果、令和 8 年 3 月の試験運用では、平均 20～30 分程度のゲート前待機時間削減効果を確認しております。

このたび、これまでの試験運用の結果を踏まえ、令和 8 年 7 月中旬より、横浜港本牧 B C コンテナターミナル（B C 2 ゲート）において、原則予約による C O N P A S[®]の常時運用を開始します。

〈常時運用の開始時期〉

令和 8 年 7 月中旬より ※開始日や利用手引きは、追ってお知らせします。

＜発表記者クラブ＞

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ・物流専門紙・その他専門紙

＜問い合わせ先＞

関東地方整備局 港湾空港部

電話：045-211-7437 メールアドレス：info-i83ab@mlit.go.jp

クルーズ振興・港湾物流企画室 室長 久保（くぼ） 内線：5729

専門官 岩本（いわもと） 内線：5748



本牧BC2における常時運用(概要)

①CONPAS運用の目的

- ・特定時間帯へのトレーラー集中来場を平準化することによるゲート前待機時間の削減。
- ・PSカード活用によるゲート受付時間の短縮。
- ・予約情報を活用したCY内荷役効率化によるCY内滞在時間の短縮。

②実施概要

実施時期	令和8年7月中旬～ ※調整中
対象コンテナ	全種別 : 搬出(実入・空)、搬入(実入・空) ※BC2ゲートにて搬出入受付を行う全てのコンテナ
対象店社	神奈川県トラック協会 海上コンテナ部会加盟店社を含む BC2ゲートで搬出入する全ての利用店社 【原則予約】 ※BC2ゲートでの搬出入にあたってはCONPAS®予約が必要
予約車動線	C突堤中央道路～BC2ゲート ※例外車両(PSカード未登録など)は、例外車両予約登録場(A突堤待機場 【暫定】)を経由
予約時間	全種別 : 8:30-11:30、13:00-16:30
予約枠数	・搬入(実入・空):5-8台/3分 ・搬出(実入・空):4-9台/3分
入場可能時間	予約時間枠の前後30分以内に予約状況確認場所へ来場
予約期限	搬出入日の3営業日前の14:00から入場可能時間終了まで
ペナルティ制度	適用 ※横浜港の他の常時運用/試験運用ターミナルと共通で加算 ただし、原則予約のため、『利用停止』ではなく、『利用制限(当日のみ予約)』を適用

本牧BCコンテナターミナル(BC2ゲート)における試験運用

- 本牧ふ頭BCコンテナターミナル(BC2)では、「原則予約」の試験運用を、段階的に規模を拡大するように3回実施。
8月：閑散期(お盆) 2日間 ⇒ 11月：通常期 2日間 ⇒ 3月：通常期 5日間

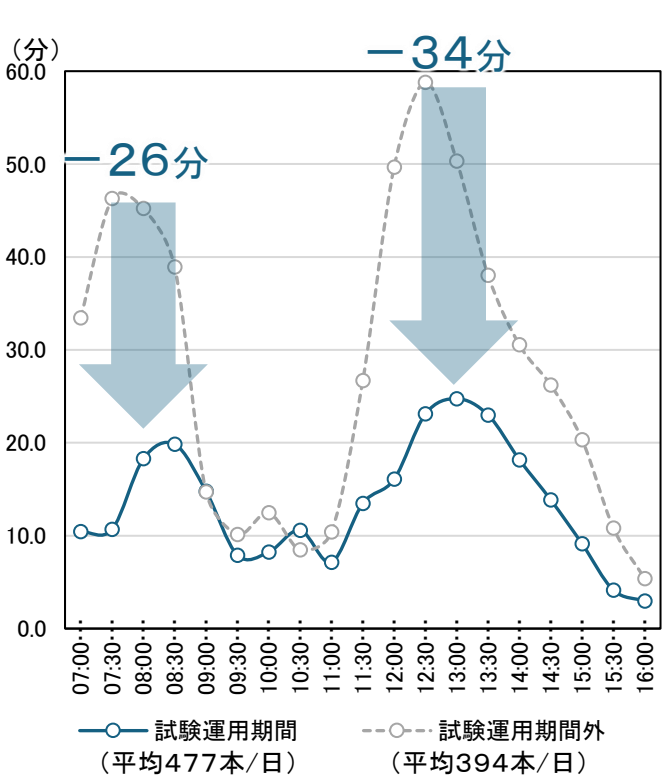
	第13回試験運用(2025.08)	第14回試験運用(2025.11)	第15回試験運用(2026.03)
実施時期	2日間 令和7年8月13日(水)・14日(木)	2日間 令和7年11月26日(水)・27日(木) ※本牧BC1・D1・D4での試験運用を、 11月13日(木)～27日(木)に実施	5日間 令和8年3月2日(月)～6日(金)
対象コンテナ	全種別 搬出(実入・空)、搬入(実入・空) ※BC2ゲートにて搬出入受付を行う全てのコンテナ		
参加店社	神奈川県トラック協会 海上コンテナ部会加盟店社を含む BC2ゲートで搬出入する全ての利用店社 ※BC2ゲートでの搬出入にあたってはCONPAS®予約が必要		
予約車動線	C突堤中央道路～BC2ゲート ※例外車両(PSカード未登録など)は、例外車両予約登録場(A突堤待機場)を経由		
予約時間	全種別:8:30-11:30、13:00-16:30		
予約枠数	搬入(実入・空): 3～4台/3分 搬出(実入・空): 4～9台/3分	搬入(実入・空): 5～8台/3分 搬出(実入・空): 4～9台/3分	搬入(実入・空): 5～8台/3分 搬出(実入・空): 4～9台/3分
入場可能時間	予約時間枠の前後30分以内に予約状況確認場所へ来場		
予約期限	搬出入日の3営業日前の14:00から入場可能時間終了まで		
ペナルティ制度	適用対象外	適用対象(常時運用ターミナルや他の試験運用ターミナルも含めて対象) ※すっぽかしにより本来利用停止となるものは、利用制限(当日のみ予約)として対応	
実施結果	CONPAS利用件数: 1, 406台/2日	CONPAS利用件数: 3, 022台/2日	CONPAS利用件数: 8, 089台/5日

ゲート前待機時間の削減効果(令和8年3月試験運用より)

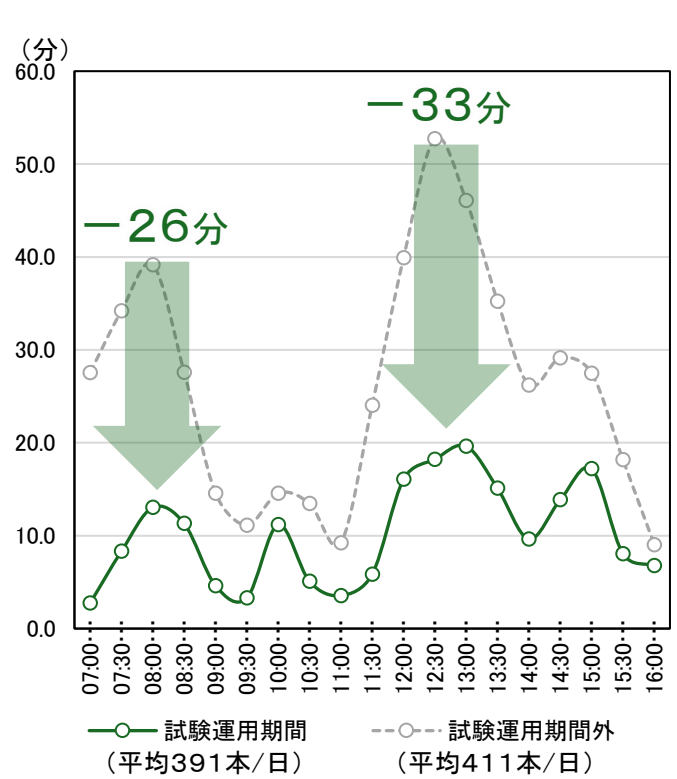
- ・ 実搬入は、試験運用期間外の待機時間最大59分が、試験運用期間中の待機時間最大25分に、最大34分短縮された。
- ・ 空搬入は、試験運用期間外の待機時間最大53分が、試験運用期間中の待機時間最大20分に、最大33分短縮された。
- ・ 搬 出は、試験運用期間外の待機時間最大28分が、試験運用期間中の待機時間最大10分に、最大18分短縮された。

【ゲート前待機時間(30分毎の平均)】 ※クローズ時間の待ち時間を除く

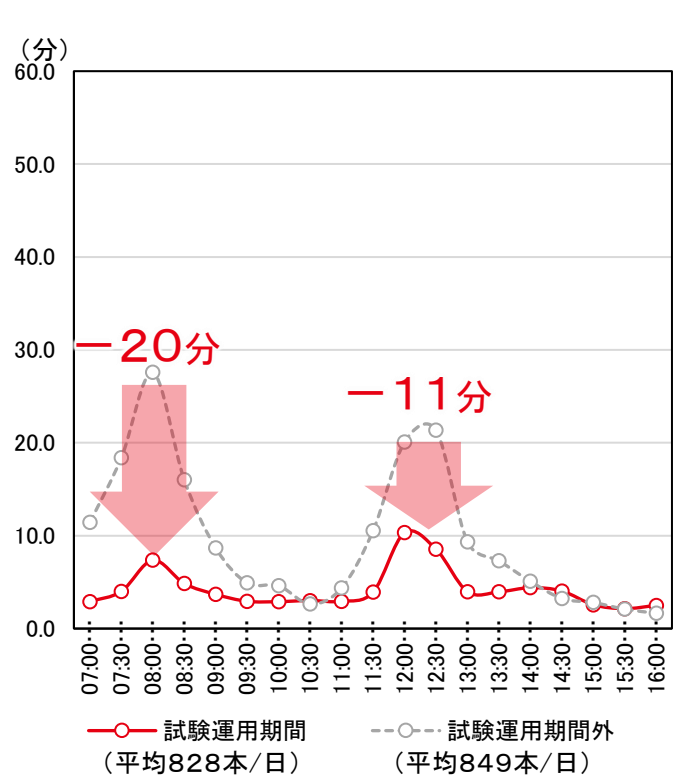
実搬入
(30分平均: 5~59分⇒3~25分)



空搬入
(30分平均: 9~53分⇒3~20分)



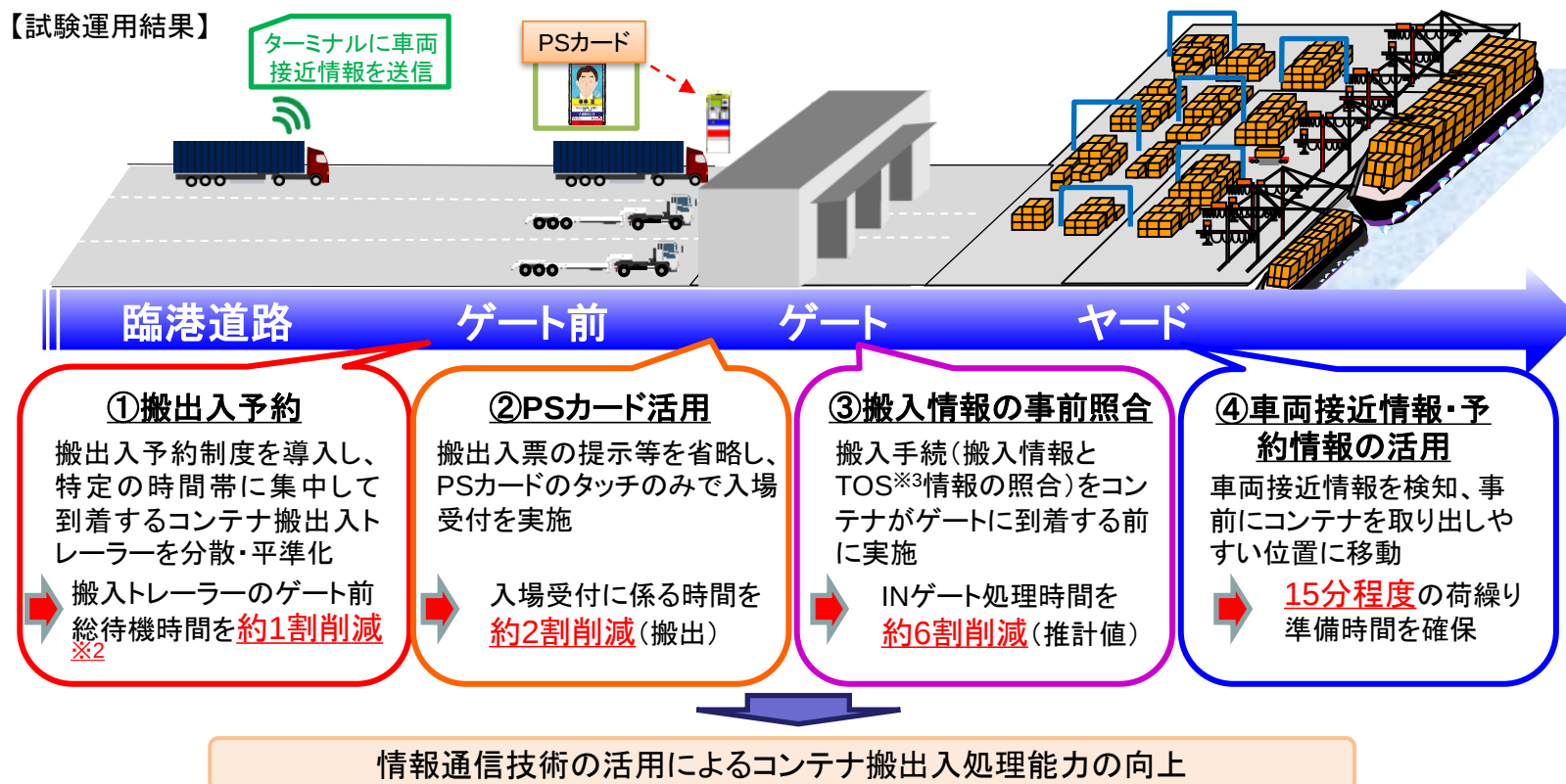
搬出
(30分平均: 2~28分⇒2~10分)



(資料: 鈴江コーポレーション様提供データ、CONPAS調査員記録データ、CONPASログデータ)

- 「CONPAS ※¹」は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図ることで、コンテナ物流の効率化及び生産性向上の実現を目的としたシステム。
- ゲート前混雑が深刻化する中、情報通信技術の活用により、ゲート手続やヤード内荷役作業の効率化を実現するため、横浜港・東京港において、試験運用を実施している。
- 横浜港では、2021年3月より、南本牧ふ頭にて「常時運用」を開始。
- 東京港では、大井1・2号(2025.8～)、大井3・4号(2026.1～)、大井6・7号(2026.3～)にて「常時運用」を開始。

【試験運用結果】



※¹ CONPAS: Container Fast Pass の略

※² 搬入トレーラーの14%が CONPASで予約を行った場合

※³ TOS: Terminal Operation System の略